

学校法人聖光学園 幼保連携型認定こども園菖蒲幼稚園  
2023年度 自己評価結果報告書

1. 園の教育目標 〈心身共に健全なる子どもの育成〉

- ・丈夫な体で元気がよい子
- ・自分のことは自分でする子
- ・友だちと仲良く遊ぶ子
- ・何にでも生き生きと興味を持つ子
- ・思ったことははっきり話し人の話をよく聞く子
- ・いろいろ創意工夫したことを楽しんで表現する子

2. 本年度、重点的に取り組むべき目標や計画

子どもの主体的活動を促す保育を進めて行くに当たって、子どもの主体性と教師の関わり方を工夫する。

職員の働き方を見直し、働く意欲と健康管理に努める

3. 具体的目標・計画

① 教育課程・指導について

コロナ禍で見直した行事等について、子どもの負担を考慮し、引き続き簡素化した形で行うものと、徐々に元に近づけるよう工夫するものとを検討する。

- ・子供の席が向かい合わせにならないよう、引き続きスクール形式をとった。
- ・保護者の要望もあり、感染防止に気を付けながらお泊まり保育を復活させた。
- ・引き続き運動会は種目を減らすなどし、絵画展はバザーの中止とクラス毎縦割りで時間差登園することで密を回避する工夫をして開催した。

② 保健管理について

幼児に対する日常の健康観察と検温の実施

環境検査の実施

感染症対策（手指消毒、除菌）

- ・新型コロナの5類移行に伴い、マスクの着用は各家庭の判断とした。
- ・各保育室に空気清浄機を設置し、窓を開けての換気をし内環境を整えるよう努めた。
- ・ドアノブや手摺り、その他、人の手の触れる所やおもちゃの消毒を定期的に行った。
- ・手指消毒液と除菌用薬剤、使い捨てビニール手袋を常備。
- ・4月に職員健康診断実施。5月と11月に園児健康診断、6月と12月に園児歯科検診を実施した。
- ・保育部のオムツ処理については、従前より保護者が持ち帰りとしていたが、市から処理費を補助していただくことで業者に委託し園で処理できるようになった。

③ 安全管理について

園庭遊具の安全点検並びに修繕等

緊急地震速報装置・防犯カメラ・110番通報装置の点検整備  
園庭側昇降口の安全

- ・「園生活のしおり」の中に災害時の引取方法について記載した。  
(あわせて引取者登録カード、園児引渡カードを作成、保護者に配布・回収)
- ・1学期、避難訓練と合わせて引渡(引取)訓練を行った。
- ・110番通報装置の法定点検を実施した。(6月と11月)
- ・一昨年9月に起こった送迎バス園児置き去り事故に端を発した置き去り防止装置の装着義務化に伴い、補助金を利用して7月に装着した。
- ・木製遊具の腐食箇所を修繕した。
- ・総合遊具のロープが摩耗していたので、取り替えるのと合わせて2点止めにして絡まり防止対策をした。

④ 特別支援教育について

学年を中心に支援を要する子どもへの対応について協議をし、園全体で協力体制を築くことで、子どもの成長発達の援助を行う。

- ・保健センターや子供が通う療育施設の担当者と連携を図りながら支援を行った。

⑤ 組織運営について

教職員への就業規則の周知(年度当初)  
教職員への情報の取り扱い方針の周知(年度当初)  
働き方改革の推進

- ・4月、辞令交付後に教職員で就業規則の読み合わせを行った。  
あわせて個人情報の取り扱い、守秘義務について周知した。
- ・1学期間、水曜日を13時降園とし仕事時間を確保した。

⑥ 研修(資質向上の取り組み)について

新採研・三年次研修・幼稚園教育研究協議会・保育実践研究協議会・埼北地区教員研修会等への参加  
保育園については、幼保一体化園研修会への参加  
園内研修(子供主体の保育)の実施

- ・全日私幼連全国設置者園長研修大会…園長
- ・全日私幼連保育実践学会…古泉、松村、宇塚
- ・全日私幼連関東地区教員研修大会…園長、四ツ釜(章)
- ・全日私幼連設置者園長事務長経営研修会…四ツ釜(章)
- ・全埼私幼連教職員大会…園長、田口、千葉、猪野、
- ・新規採用教員研修(年10回)…該当職員なし
- ・全埼私幼連三年次研修会…該当職員なし
- ・全埼私幼連園長主任研修会…園長、
- ・全埼私幼連中堅教員研修…該当職員なし

- ・全埼私幼認定こども園研修会…
- ・全埼私幼連0・1・2歳児研修…
- ・全埼私幼連特別支援研修会…園長
- ・全埼私幼連彩宝塾…園長、四ツ釜(章)
- ・全埼私幼連保育実践研究協議会…柁嶋、佐藤、根岸、入江、小林、田口、鈴木、千葉  
井上、松村、古泉、宇塚、
- ・久喜市人権映画…園長、柁嶋、金野、長谷川、四ツ釜(章)、松村、
- ・久喜市民間保育所研修会…佐藤、金野、根岸、入江、金子、巻島、藤家、田口、千葉  
井上、猪野、
- ・保育士等キャリアアップ研修…
- ・保幼小研修会…宇塚
- ・東部地区人権教育研修会…鈴木
- ・私立学校人権教育研修会…小林
- ・埼北地区研修会…鈴木、松村、宇塚、猪野
- ・S I あそび初任者研修会…該当職員なし
- ・合同就職説明会…園長、古泉、宇塚
- ・支援センター担当者連絡協議会(2回)…星
- ・地域子育て支援士従事者研修会(虐待防止)…

#### ⑦ 情報提供について

- 園生活のしおり(年度当初)
- 園だより(毎月)
- 募集要項(入園対象児保護者)
- 携帯メール連絡網による情報提供

- ・上記資料により、情報提供を行ったほか、保育園では送迎時にホワイトボードを用いて諸連絡等の情報提供を行った。
- ・携帯メールにて園便りを保管する情報を提供した。
- ・動画配信アプリを利用して行事の様子を配信した。

#### ⑧ 保護者・住民との連携

- 父母の会との連携による行事運営
- わんわんクラブ活動(交通安全・防犯指導)
- 上記以外の保護者の保育参加、地域住民の保育参加のあり方の検討

#### ⑨ 子育て支援(預かり保育を含む)

- 地域子育て支援センターの運営**
- 父母の会との共催で教養講座の開催
- 毎月の園だよりによる子育て情報の発信
- 一日先生体験「にこにこママ(パパ)先生の実施

- ・26年4月から開設した地域子育て支援センター「ぼびーるーむ」も10年目を迎えた。
- ・今年も新型コロナウイルス感染症の制限が緩和されたことを受け、グループの活動人数を増やして行った。

- ・就労する保護者(母親)が増え、父母の会の役員決めが困難な状況が続いていたため組織を見直し、四役以外は行事の係とした。
- ・父母の会の協力により、各種行事を滞りなく開催することができた。
- ・お母さん先生による交通安全指導・防犯指導を行った。(2回)
- ・保育部では、親支援事業として「おまつりごっこ」、「保育参加体験」を行った。
- ・「しつけ事典」から子育てのアドバイスを抜粋、毎月の園だよりで情報発信した。
- ・保護者の保育者体験事業として「にこにこママ(パパ)先生」を行った。

## ⑩ 教育環境整備

- ・卒園記念品として、砂場遊び用テーブル・椅子セットを購入した

### <全体を通しての自己評価>

- ・新型コロナウイルス感染症が5類になり、行動制限が緩和されたことを踏まえ、マスクの着用は家庭の判断とした。マスクを外すことで互いの表情が見えるようになった
- ・各行事については、コロナ禍で簡素化した状態から少しボリュームを加えた。(運動会では未就園児と卒園児の種目をプラス、絵画展ではキッチンカーを招いた) コロナ禍前ほどではなくともそれなりに賑わいを感じられた。
- ・保護者から園での様子を知りたいという要望があり、人数制限をして保育参観を再開した。合わせて一日ママ先生を行い、子どもを見る機会を提供することができた。
- ・当園に限らず深刻な保育士・教員不足が続いている。園児数に対し基準を満たしてはいるが、職員一人一人の負担が増している状況である。そこで、学年の仕事と個人の仕事の進め方を工夫したり、協力し合ったりして効率化を図るようにし、なるべく定時に帰れるよう心がけた。
- ・4月、5月の水曜日が13時降園だったものを1学期の間13時降園とすることで、子どもと関わること以外の仕事時間を確保した。
- ・使用済みオムツの持ち帰りを廃止すると同時に、あわせて7月の1ヶ月間オムツのサブスクの無料体験を実施し、希望者には継続してオムツを持参することなく提供できるシステムを導入し、保護者の負担軽減を図ることができた。
- ・園庭の除草作業など保育以外の負担軽減のため、シルバー人材を活用した。
- ・今後の課題としては、市の予算が付くことが条件とはなるが、ICT化を進め、手書きの書類を電子化することで職員の負担軽減を図ることと、職員の採用特に新卒採用が課題である。

### <学校関係者による評価>

- ・保育士や幼稚園教諭の不足が叫ばれる中、保育の質の維持・向上と働き方改革のバランスが難しい状況にある中で、先生方が頑張っている様子が窺える。これからも保育の質を落とさないよう、業務の効率化にも努めて欲しい。